

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

五洋建設株式会社（証券コード: 1893）

【据置】

長期発行体格付 A
格付の見通し 安定的
債券格付 A
国内CP格付 J-1
（発行限度額変更：600 億円 → 900 億円）

■格付事由

- 1896 年創業の総合建設会社。海上土木工事における国内トップ企業。シンガポールの埋立地の約 40%を当社が施工するなど海外でのプレゼンスも相応にある。セグメント別売上高構成比（25/3 期）は国内土木事業 42.2%、国内建築事業 35.0%、海外建設事業 20.9%、その他 1.9%であり、バランスの取れた事業構成となっている。
- 中期的に堅調な利益が見込まれる。近年、海外建設事業において複数の大型工事が不採算となっていたが、25/3 期に追加工事損失を計上したことで、今後それらの工事が利益に与えるマイナス影響はなくなる見通しである。国内土木、建築事業は受注環境が良好であり、引き続き、安定した利益が予想される。また、財務構成の健全性も損なわれていない。運転資本の増加、株主還元の強化、作業船への投資によって資金負担が増していくが、自己資本の増加も見込まれることから、一定の財務構成の維持は可能と考えられる。以上から、格付を据え置き、見通しは安定的とした。なお、今般、国内 CP 格付について発行限度額を拡大しているが、同限度額に対して流動性は十分に確保されている。
- 25/3 期の営業利益は 216 億円（前期比 25.6%減）となり、2 期振りに減益となった。国内土木、建築事業は堅調に推移したものの、海外建設事業において追加工事損失を計上した影響を受けた。26/3 期の同利益は 395 億円（同 82.0%増）の計画であり、最高益更新が見込まれる。国内土木、建築事業の安定した利益貢献のほか、海外建設事業における赤字工事の引き渡しや浚渫船の稼働率回復による利益改善が予想される。
- 25/3 期末のネット DER は 0.63 倍（前期末：0.29 倍）であり、前期末と比べて上昇しているものの健全な水準にある。当面、①工事量の増加にともなう運転資本の増加、②配当性向の引き上げ、自社株買いといった株主還元の強化、③注力している洋上風力関連工事に活用する作業船への投資の本格化による資金負担が予想される。ただし、中期的に比較的高水準のキャッシュフローが見込まれるほか、作業船は他社との共同保有によって投資負担を軽減する計画であり、財務構成に与える影響は大きくないと考えられる。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

■格付対象

発行体：五洋建設株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 5 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100 億円	2020 年 10 月 14 日	2025 年 10 月 14 日	0.250%	A
第 7 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2021 年 9 月 27 日	2026 年 9 月 25 日	0.140%	A
第 8 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	110 億円	2023 年 10 月 18 日	2028 年 10 月 18 日	0.808%	A

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2024年2月29日	2029年2月28日	0.802%	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	900億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2025年7月1日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「総合建設」（2025年2月7日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 五洋建設株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル